

主要施設の整備方針について

庄川特産館 ～ 観光ゾーンとして賑わいや交流の中核施設へと機能変更 ～

- 特産館を商業施設(飲食、小売物販)に用途変更し、テナントを募集
- 施設が老朽化し、給水や空調設備など必要箇所の改修を予定
- 改修にあたり、令和5年度に各エリアの利用イメージや屋外・屋内の工事内容等を定める「事業構想」を、指定管理者である庄川峡観光協同組合と協力し作成予定
- 特産館内で行っている展示や販売は、令和5年12月末で一旦終了し、令和6年1月からは施設屋内外の現状等について把握する調査を開始
- 事業構想を作成する中で、店舗の誘致や試行的にテナントを出店するトライアルストアの実施等に向けた準備



庄川ふれあいプラザ ～ 文化・歴史・交流ゾーンとして水資料を移転 ～

- 庄川水資料館の収蔵資料を選定し、展示スペースに移設展示
- 既存の展示スペースを活用し、令和4年度に新規製作した水資料に関する展示パネルを展示(展示の構成は砺波郷土資料館が担当)
- 令和5年度に水資料に関するデジタルコンテンツを制作予定
- 水記念公園内にQRコードの看板を15基設置し、来場者がスマホで読み込むコンテンツにアクセス可能
- 庄川美術館のブロンズ像6体を旧ソーラーカー展示室に移設
- 庄川美術館、庄川水資料館は令和5年度末に閉館予定

QRコード看板イメージ図



※3Dビューワ・イメージ(GoogleMaps)



庄川ウッドプラザ ～ 遊びのゾーンとして子どもが安全に遊べる空間に機能変更 ～

- 飲食スペースを残したうえで、子どもの遊び場に用途変更
- 既存の物販機能は庄川特産館へ機能移転
- 施設内に木育のスペースも確保

